

事前評価調書

I 事業概要																																																			
事業名	農業農村整備事業（用排施設整備事業）																																																		
地区名	おおすけがわじょうりゅう 大助川上流地区																																																		
事業箇所	稲沢市陸田馬山町 外																																																		
事業のあらまし	<p>本地区は、稲沢市の東部に位置し、排水は二級河川福田川を経て二級河川日光川へ流入している。地区内では都市近郊の立地を生かしながら、水稻を中心に、はくさい、キャベツ、ほうれんそう等の栽培が行われている。</p> <p>本排水路は、昭和34年度から昭和37年度にかけて整備された。しかし、近年の都市化の進展に伴う流出量の増大や、高度経済成長期の地下水くみ上げによる地盤沈下により排水能力が低下し、地区内の農地等で湛水被害が年々顕在化してきている。</p> <p>このため、本事業により排水路を改修することで排水機能を向上し、湛水被害を防止することにより、農業経営の安定と地域住民の暮らしの安全確保を図る。</p>																																																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>湛水被害を防止することにより、農業経営の安定と地域住民の暮らしの安全確保を図る。 （基準雨量 285 mm/3日、1/10年確率雨量）</p>																																																		
事業費	事業費		内訳																																																
	6.5億円		■工事費 6.0億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.4億円																																																
事業期間	採択予定年度	平成30年度	着工予定年度	平成31年度	完成予定年度	平成35年度																																													
事業内容	排水路工 2.0km																																																		
II 評価																																																			
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本地区の排水は二級河川福田川を経て二級河川日光川へ排水している。しかし、近年の都市化の進展に伴い流出量の増大や地盤沈下により、地区内の農地等で湛水被害が年々顕在化してきている。</p> <p>このため排水能力を向上させ、これらの被害を防止する必要がある。</p> <p>また、費用対効果分析結果（B/C）は2.03であり、基準値の1.0を超えており、効果が期待できる。</p>																																																	
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>排水路を改修し排水能力を向上する必要がある。</p>																																																
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>・排水路工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">5.5</td> <td colspan="2">1.0</td> </tr> </tbody> </table>							H30	H31	H32	H33	H34	H35	工種 区分	調査・設計	←→						用地補償		←				→	工事		←				→	・排水路工		←				→	事業費（億円）		5.5				1.0	
			H30	H31	H32	H33	H34	H35																																											
	工種 区分	調査・設計	←→																																																
用地補償			←				→																																												
工事			←				→																																												
・排水路工			←				→																																												
事業費（億円）		5.5				1.0																																													
2) 地元の合意形成	土地改良法に基づく地元申請の事業であり、地元の合意形成は図られている。																																																		
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p>																																																	

		<p>【理由】 事業計画に無理がなく、地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。</p>
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である。	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 —</p> <p>【主な評価内容】 本事業は想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合にその効果を検証する。</p>		